

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 24 年 4 月 19 日 (2012.4.19)

【公開番号】特開 2010-238489 (P2010-238489A)
 【公開日】平成 22 年 10 月 21 日 (2010.10.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-042
 【出願番号】特願 2009-84558 (P2009-84558)
 【国際特許分類】

H 0 1 J 11/22 (2012.01)

H 0 1 J 11/34 (2012.01)

【F I】

H 0 1 J 11/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 1 日 (2012.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板上に形成した表示電極を覆うように誘電体層を形成するとともにその誘電体層上に保護層を形成した前面板と、

この前面板に放電空間を形成するように対向配置され、かつ前記表示電極と交差する方向にアドレス電極を形成するとともに前記放電空間を区画する隔壁を設けた背面板と、を有し、

前記前面板の保護層は、前記誘電体層上に形成した下地膜と、この下地膜上全面に亘って分布するように付着させた凝集粒子とを有し、

この凝集粒子は、金属酸化物からなる複数個の結晶粒子が凝集した凝集粒子であって、真空紫外線励起によって波長 200 nm ~ 300 nm の領域に発光を有し、前記発光の強度が 50 % に減衰するまでの時間 $t_{0.5}$ が $t_{0.5} \leq 60$ ms である、プラズマディスプレイパネル。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記目的を達成するために本発明の PDP は、基板上に形成した表示電極を覆うように誘電体層を形成するとともにその誘電体層上に保護層を形成した前面板と、この前面板に放電空間を形成するように対向配置され、かつ前記表示電極と交差する方向にアドレス電極を形成するとともに前記放電空間を区画する隔壁を設けた背面板と、を有し、前記前面板の保護層は、前記誘電体層上に形成した下地膜と、この下地膜上全面に亘って分布するように付着させた凝集粒子とを有し、この凝集粒子は、金属酸化物からなる複数個の結晶粒子が凝集した凝集粒子であって、真空紫外線励起によって波長 200 nm ~ 300 nm の領域に発光を有し、前記発光の強度が 50 % に減衰するまでの時間 $t_{0.5}$ が $t_{0.5} \leq 60$ ms である、というものである。